

取締役会、役員指名諮問委員会、及び役員報酬諮問委員会の活動状況（2023年3月期）

2023年3月期における、取締役会、役員指名諮問委員会、及び役員報酬諮問委員会の構成員及び議長、並びに開催・出席状況は、以下のとおりであります。

役職	氏名	取締役会	開催・出席状況	役員指名 諮問委員会	開催・出席状況	役員報酬 諮問委員会	開催・出席状況
代表取締役 社長執行役員	安原弘展	◎	100% 17/17回	○	100% 8/8回		
代表取締役 副社長執行役員	宮城晃	○	100% 17/17回	○	100% 8/8回	○	100% 7/7回
取締役 常務執行役員	矢島昌明	○	100% 13/13回				
社外取締役	黛まどか	○	94% 16/17回	○	88% 7/8回	○	71% 5/7回
社外取締役	斎藤茂	○	100% 17/17回	○	75% 6/8回	○	71% 5/7回
社外取締役	岩井恒彦	○	100% 17/17回	◎	100% 8/8回	◎	100% 7/7回
常勤監査役	北川真一	□	100% 17/17回				
常勤監査役	岡本克弘	□	100% 17/17回				
社外監査役	白井弘	□	100% 17/17回				
社外監査役	浜本光浩	□	100% 17/17回				
社外監査役	島田稔	□	100% 17/17回	△		△	
執行役員	廣岡勝也	△					
執行役員	長谷川貴彦	△				○	100% 7/7回
執行役員	加茂下泰生	△					
執行役員	芝原和宏	△					
執行役員	今井浩						
執行役員	森本秀治						
執行役員	篠塚厚子						

(◎：議長又は委員長、○：構成員、□：出席者、△：オブザーバー)

a. 取締役会の活動状況

機関	審議事項・検討内容	開催状況
取締役会	<ul style="list-style-type: none"> ・法令や定款に定められた事項のほか、重要な業務に関する事項はすべて付議されています ・2023年3月期は、主に以下の点についての審議・検討を行いました イ) コーポレート・ガバナンス <p>取締役会の実効性向上のための課題のひとつに掲げた、役員指名諮問委員会、役員報酬諮問委員会の役割の明確化に向け、両委員会から答申された委員会規程の改正、運営ガイドラインの制定内容を審議しました。役員指名諮問委員会の運営ガイドラインに設けた取締役会の構成及びスキルマトリックスの策定をはじめ、年間活動計画に沿って運営が適切に行われるよう監督していきます</p> ロ) サステナビリティ <p>気候変動による事業のリスクと機会（TCFDへの対応）、また、CSR調達や女性の活躍促進を含む多様性の確保などといったサステナビリティを巡る課題、及び当社グループにおける取り組みの計画について、サステナビリティ委員会から報告を受けると同時に、定期的な進捗状況について確認を踏まえました。引き続き、具体的な成果目標の実現に向けて、経営資源の配分や事業ポートフォリオに関する戦略の実行を監督していきます</p> ハ) 企業倫理・リスク管理 <p>企業倫理・リスク管理委員会は、経営環境・事業戦略に関するリスク、及び事業運営上のリスクに関して、発生可能性と影響度の観点からスコアリング評価を行います。当社グループの経営に重大な影響が想定されると評価された項目は、毎年、同委員会からの答申を受けて検討を行い、グループ重要リスクとして決定しています。その後、当事業年度内に突発的に発生した事業運営上のリスク事案への対応を含めて、リスクを軽減化する取り組みが適切に実施されているか、定期的な報告を受け、再発防止策のモニタリングを行いました</p> 二) 中長期事業戦略 <p>事業環境や競争優位性を踏まえたうえで、新規事業の参入戦略・計画、国内外事業の非連続成長の実現に向けた方向性、基幹ブランドのブランド戦略、社会的な課題への対応を含めた経営戦略が、適切に策定・実行されているか議論を行いました。今後も企業価値の最大化を目指し、戦略の有効性と計画の進捗状況を確認し、持続的な成長を果たすための抜本的な取り組みについての議論を深めていきます</p> ホ) 資本効率 <p>当社の事業ポートフォリオを見つめ直し、経営資源の適切な再配分を実現すべく、国内事業所の再編や、中国市場からの不採算事業の撤退等を意思決定しました。今後も、資本収益性向上の課題に対し、引き続き検討を行います</p> ・このほか、毎月、取締役執行役員からの執行状況及びグループ経営会議での審議状況の報告を行っています 	17回

b. 役員指名諮問委員会の活動状況

機関	審議事項・検討内容	開催状況
役員指名諮問委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・取締役への期待役割を議論し、それに基づくスキルマトリックスを策定、人材要件を確認したうえで、5月の取締役会に答申しました ・取締役に関連する内規の改定、当該委員会規程の改定、及び当該委員会の運用ガイドラインの制定を行い、5月の取締役会に答申しました。併せて、年間活動計画（初案・継続検討）を同月に答申しました ・2023年6月までを見据えた、当該委員会の年間活動計画を討議し、8月の取締役会に答申しました ・取締役の評価体系について、複数回の討議を踏まえた後、11月の取締役会に答申しました ・取締役の異動と業務委嘱について審議し、11月の取締役会に答申しました ・2023年6月以降の取締役体制について、マトリックスを活用したスキルバランスや多様性確保の妥当性、候補者の略歴、選定理由等を照らしながら、複数回の討議を行い、2月の取締役会に答申しました ・取締役等に関連する内規の見直しについて審議し、3月の取締役会に答申しました 	8回

c. 役員報酬諮問委員会の活動状況

機関	審議事項・検討内容	開催状況
役員報酬諮問委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・前事業年度（2022年3月期）の業績に基づいた、業績賞与（業績連動報酬）額を5月の取締役会に答申しました。併せて、取締役の報酬体系全般に係る現状の課題と見直しの方向性について討議し、同月に答申しました ・当該委員会規程の改定、及び当該委員会の運用ガイドラインの制定を行い、5月の取締役会に答申しました。併せて、年間活動計画（初案・継続検討）を同月に答申しました ・2023年6月までを見据えた、当該委員会の年間活動計画を討議し、8月の取締役会に答申しました ・取締役の報酬制度における現状の課題や改善点について複数回の意見交換や継続的な議論を行い、取締役の評価体系の再構築と連動した2024年3月期の報酬案を審議し、11月の取締役会に答申しました ・当事業年度（2023年3月期）の業績見込みに基づいた、業績賞与額の方向性を確認しました 	7回